

組織目標評価報告書（平成22年度）

部局名： 評価センター

	組織目標	達成状況(成果)
教 育	該当なし	
		達成度: 4 3 2 1
研 究	該当なし	
		達成度: 4 3 2 1
セ ン タ ー 業 務	(1) 第1期中期目標期間の評価の確定について、全学協力体制の下で提出書類を作成のうえ適切に評価を受審する。 (2) 教員活動評価を各部局と連携して円滑に実施する。また、制度の問題点などのアンケート調査を行い、必要な改善等について検討するとともに、教育開発センターとの協働により、各教員の教育改善に向けた高いインセンティブを引き出すという観点から、既に行われている教員活動評価の改善提案に向けた見直しを行う。 (3) 組織評価を確実に実施するとともに、評価方法などの検証を行い、制度の充実を図る。	(1) 全学の協力の下、達成状況報告書、現況分析における顕著な変化説明書及び業務実績報告書を6月末までに作成・提出した。その後、法人評価委員会によるヒアリング等を受け、11月に平成21年度の業務実績評価結果が提示され、「順調」との評価を受けた。また、第1期中期目標期間評価においては、評価原案が示された。(最終決定は5月頃の予定。) (2) 教員活動評価の実施とともに、各教員に対してアンケート調査を行い、その結果を集計・分析して、評価センター運営委員会において議論を行った。今後さらに詳細な分析を行うとともに、教育開発センターで検討されている教育評価の改善意見も取り入れて次年度に見直しを検討していくこととした。 (3) 組織評価を実施した。平成22年度は、第1期中期目標期間評価の各部局の現況分析評価結果に基づき、部局運営費の傾斜配分を行った。また、各部局等における客観的指標についての定義を明確化し、横並びでの評価を可能とした。
		達成度: 4 ③ 2 1
社 会 貢 献	該当なし	
		達成度: 4 3 2 1
【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。 2.巡目の認証評価受審、第2期中期目標期間終了時の法人評価受審に向け、各種データ、特に教育・研究に係る実績データの収集について、情報統括センターと協力して仕組みを構築するとともに、各部局に対しても早い段階での依頼を行うなどの諸準備に取りかかる必要がある。		

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。